



富士通クラウドとの協業

株式会社蒼空（あおぞら）
代表取締役 林 健一郎

株式会社 蒼空 会社概要

設立 2009年12月
所在地 東京都新宿区

事業内容

各種ビジネス／IoTアプリケーション開発

各種モバイルアプリケーション企画開発

デジタルコンテンツ企画制作

デザイン

(グラフィック、Webサイト、 UI・UX、ムービー)

代表製品

MeetingForce

PDFやJPEGなどの既存のファイルに手軽にメモができそれを複数の端末でリアルタイムに同期共有できる、コミュニケーションサポートアプリです。

MeetingForce-GPはストレージにGIGAPODを使ったトライポッドワークス社との協業製品です。



お客様のご要望

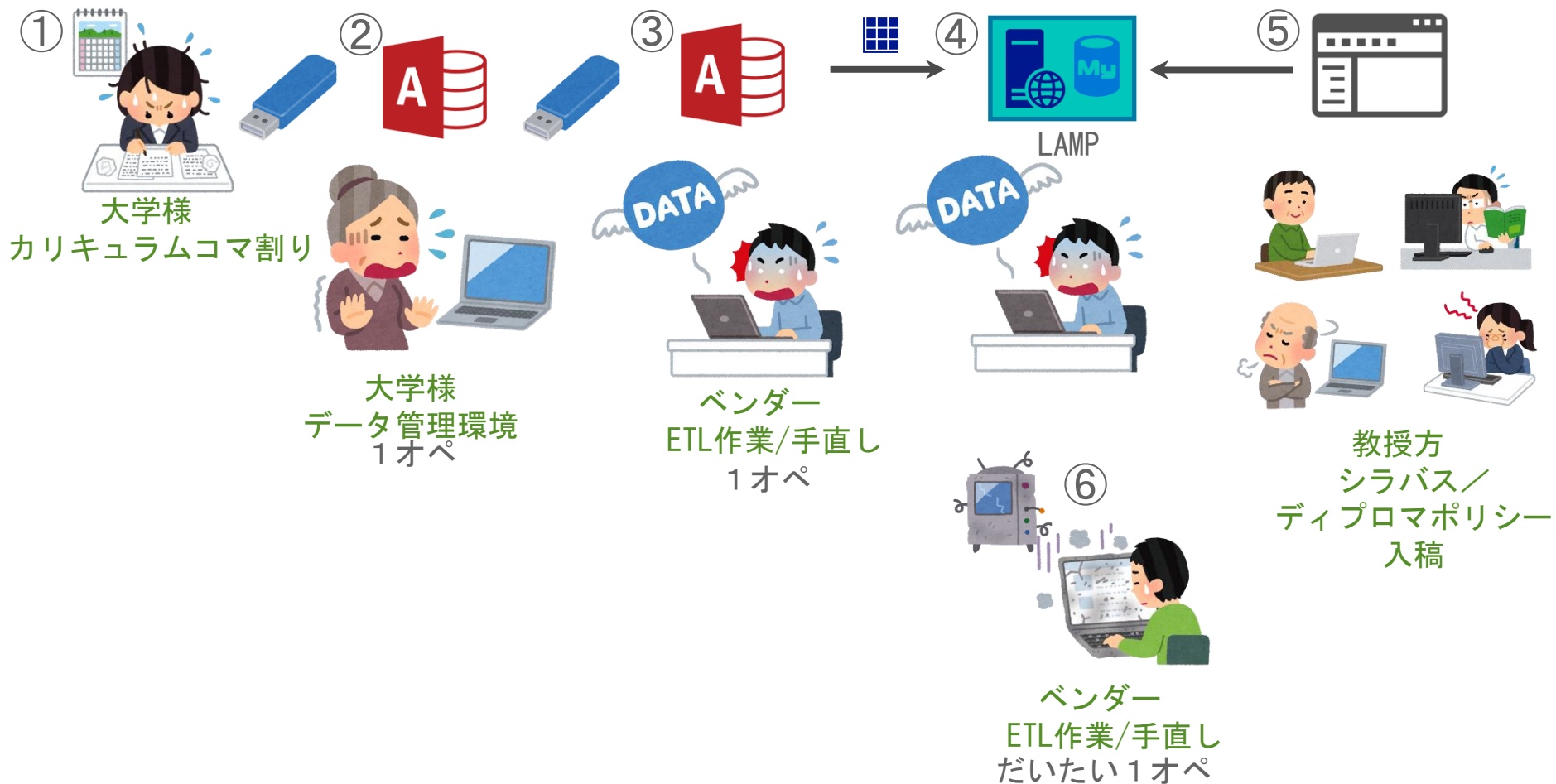
シラバスシステムのWeb化とカリキュラムマップの生成

| | |
|-----------------|--|
| シラバス (Syllabus) | 講義などの内容や進め方を示す計画書。 |
| 科目ナンバリング | 教育課程の体系が容易に理解できるように、科目間の連携や科目内容の難易を表す番号をつけ、教育課程の構造を分かりやすく明示する仕組み。教育の国際通用性を高める取組。 |

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | |
|---------------------|---|--------------------------------|------------------------------|---------------------------------|------|
| 自然科学の基礎の修得 | 理学系基礎教育科目 [概論系科目] 物理学概論、化学概論 [数物系科目] 線形代数Ⅰ・Ⅱ、微分積分Ⅰ・Ⅱ、力学 [実験系科目] 基礎物理実験、基礎化学実験 | | | | 卒業研究 |
| | 理学系履修科目 [数学系科目] 基礎微分方程式、常微分方程式、ベクトル解析、複素関数論、偏微分方程式、確率統計Ⅰ・Ⅱ、確率統計演習、代数学、離散数学Ⅰ・Ⅱ、離散数学演習、抽象数学、信号処理解析 [物理系科目] 電磁気学Ⅰ・Ⅱ、電磁気学演習、振動波動、振動波動演習、熱力学Ⅰ・Ⅱ、流体力学Ⅰ・Ⅱ、移動現象論Ⅰ、物性物理学、基礎量子論、量子力学Ⅰ・Ⅱ、統計力学 [化学系科目] 物理化学Ⅰ・Ⅱ、無機化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学Ⅰ・Ⅱ、分析化学Ⅰ・Ⅱ、高分子化学Ⅰ・Ⅱ [生物系科目] 基礎生物学、生化学、微生物学、細胞生物学、環境微生物学 | | | | |
| 無機物質の構造・反応・機能の理解 | 化学概論(理基) | 分析化学Ⅰ(理展) 無機化学Ⅰ(理展) | 無機化学Ⅱ(理展) | 固体化学 分析化学Ⅱ(理展) 無機物性化学 | |
| 物質の構造・性質・機能の理解 | | 物理化学Ⅰ(理展) | 物理化学Ⅱ(理展) | 構造化学 分子分光学 物性物性化学 電気化学 | |
| 高分子物質の構造・合成・機能の理解 | 分野統合科目 化学・生化学 基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ | | 高分子化学Ⅰ(理展) | 高分子化学Ⅱ(理展) | |
| 有機物質の構造・反応・機能・合成の理解 | | 有機化学Ⅰ(理展) | 有機化学Ⅱ(理展) | 有機物性化学 生化学 | |
| 生体物質の構造と機能の理解 | 基礎生物学(理展) | 生化学(理展) | 構造生物学 | 化学・生物化学演習Ⅱ 化学・生物化学演習Ⅳ | |
| 生物の構造・機能の理解 | | 微生物学(理展) | 分子生物学 細胞生物学(理展) | 化学・生物化学演習Ⅲ 化学・生物化学演習Ⅳ | |
| 化学技術者の基礎技術の修得 | | 化学・生物化学実験Ⅰ(理基・基礎化学実験) | 化学・生物化学実験Ⅱ | 化学・生物化学実験Ⅲ 化学・生物化学実験Ⅳ | |
| 理工学技術者の基礎知識の修得 | 情報(全学・情報) | 情報化学 | 安全工学 | 電子工学 化学工学 品質管理 | |
| 国際コミュニケーションスキルの修得 | | 専門英語Ⅰ | 専門英語演習 | 専門英語Ⅱ | |
| 国際コミュニケーションスキルの修得 | 学部共通科目 | 国際コミュニケーション実習Ⅰ・Ⅱ、知的財産専門講座、経営工学 | | | |
| 社会的自立に必要な就業力を修得 | キャリア計画(全学・就業力) | キャリア設計(全学・就業力) | インターンシップⅠ 技術者原論(全学・総合科目群) | インターンシップⅡ | |
| 社会生活の基礎の修得 | 学びのリテラシー(1)~(3)、英語、スポーツ・健康、教育育成科目(人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群・健康科学科目群・外国語教育科目群・総合科目群)、入門科目 | | | | |

カリキュラムマップ

現状 (システムになっている風)

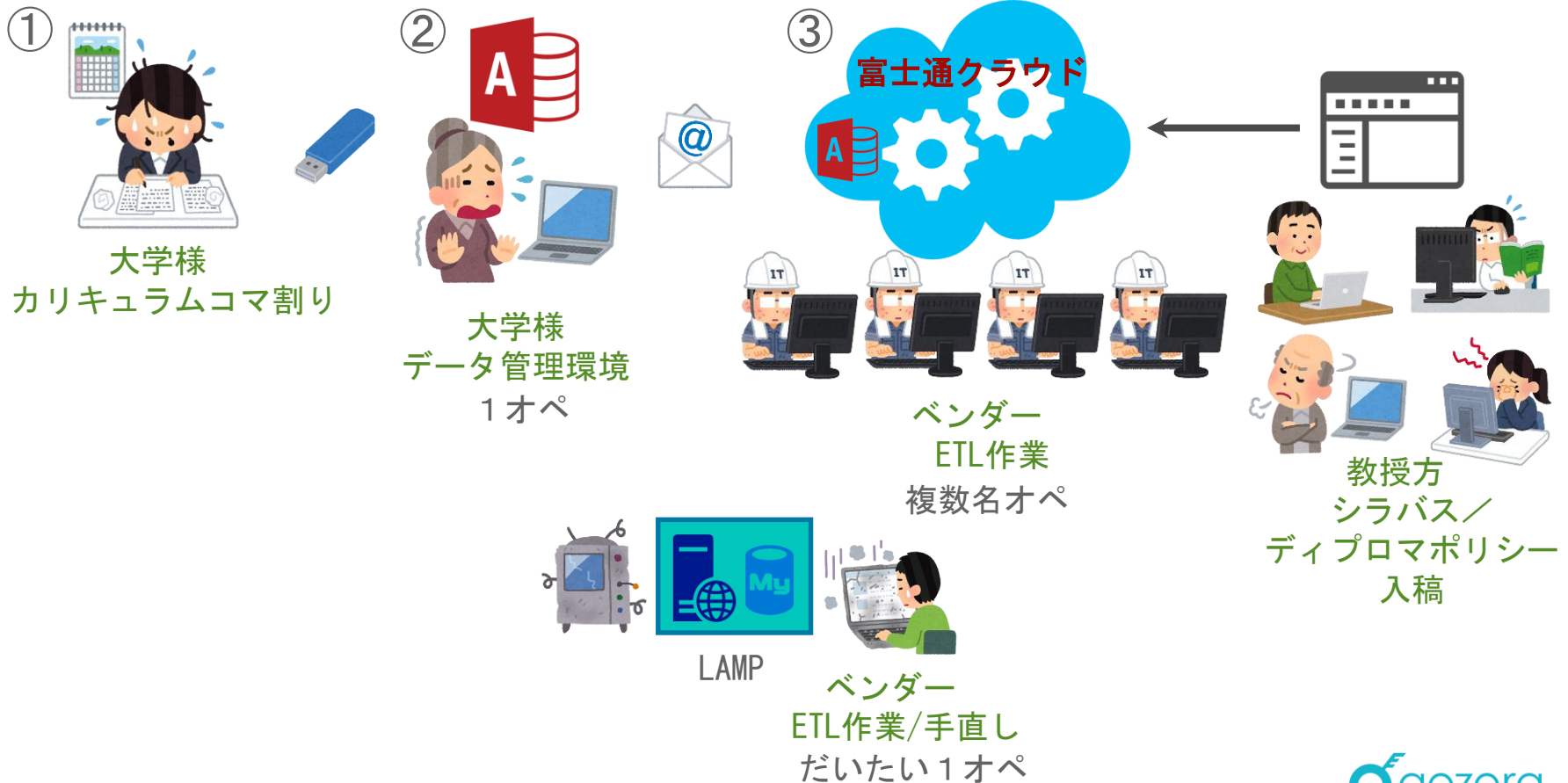


現行運用環境の不具合／課題点

- 運用作業がローカル環境である（古いPC 1台）
- 環境構成上、作業は1人で行う必要がある
- ETL作業プロセスが多く猥雑になり易い
- 処理中のデータについてユーザー様と共有し難い
- システム導入から15年、経年劣化している
- 現在AccessはWebで共有出来ない（無理矢理になる）

1段階の狙い (ITシステムにする)

システム基盤をクラウドにおいて
シンドイETL作業を複数人で出来る基礎を作る



富士通クラウドへの好感点

- 日本製であること
- データの所有権がユーザーにあること
- 手厚い支援を頂けること

本件での富士通クラウド利用上課題点と懸念点

- Azure (Office365) だけで構築出来ちゃう
- 協業ビジネスモデルの確立

本件を富士通クラウドで進めるための方針

■ Accessのご利用をやめて頂き対案をだす

■ MySQLからPostgreSQLに変更

【重要課題】 Accessデータの正常な移行

→ 弊社製品のTransitForce(トランジットフォース) で解決？

トランジットフォース：

弊社製品のデータ移行作業サポートツールです。

移行元データを確実に移行できる検証／データ修正を行います。

また、エラーをわかりやすく分類するレポートが作成されます。



ご清聴ありがとうございました